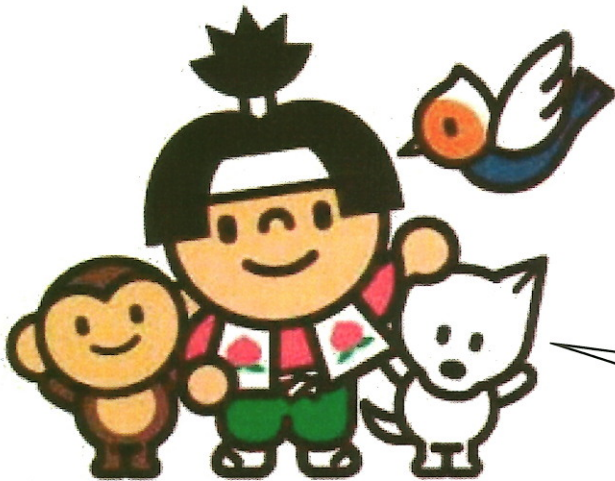


# ももたろう通信



発行日：平成30年3月30日  
発行：社会福祉法人つどいの家グループホーム  
発行責任者：飯田克也（グループホーム管理者）  
住所：〒981-8001  
仙台市泉区南光台東 1丁目 10-19  
連絡先：022-252-0348

私達は仲間と協力して  
生活しています

※ももたろう新聞の由来：仲間と助け合い、共に作る広報誌

2016年4月14、16日、熊本市を中心に最大震度7の熊本地震が起きました。昨年6月、その後のグループホーム等の状況把握のため、日本グループホーム学会仙台大会の実行委員とともに熊本を訪問しました。その際に当時と今の状況について話を伺いましたので紹介します。

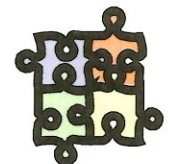
○熊本市内でグループホーム（マンション）を運営している管理者の方より

「建物の被害はなかったが、普段、夜間職員を配置していないが震災後は入居者の不安が強く、夜間職員を配置しなければならなかった」「入居者が避難所や病院等に移り、グループホームの事業の継続が難しく、グループホームをやめなければならなかった」「地震後、市内のグループホームの被災状況の情報も分からず、今後どのように事業を続けていけばよいか情報がほしかった。行政機関に確認はしたものの、当時は行政も手一杯であった」「今後、市内のグループホームの情報が分かるような横のつながりをもちたい」

○地震により、建物が大きく傾き倒壊した熊本市の隣町の障害者支援施設の管理者の方より

「入所者を一人ずつおぶって避難」「地域では火事場ドロボーが頻繁に発生し、防犯のため施設の灯りを絶やさなかった」「家の中にいるのが怖く、車中泊生活を施設の敷地で2ヶ月間おくった」「全国から多くの支援があり、物資には困らなかった」「施設の復旧にとっても時間を要している」「震災後、1年以内に職員が相次ぎ退職」地震後、入所者の方々は同法人内のグループホームで避難生活をしていましたが、約1年後民間団体の助成により、同敷地内に入所者が仮住まいする復興支援住宅（木造平屋）が完成しました。一部の方は新たな生活を始めていましたが、多くの方々は、現在も避難生活を続けています。早くても施設の再建は、2018年夏頃とのことです。

お二人の方から話を伺い、待つだけではなく動くことの大切さを教えていただきました。被災された経験を分かち合い、次につなげていくためにはわたしたちのできることは何かをあらためて考えていかねばなりません。まもなく、熊本地震から2年が経過します。わたしたちひとりひとりが応援団、これからも熊本を応援していきましょう。（グループホーム管理者 飯田）



## グループホーム紹介<ひこうき雲編>



今回はひこうき雲編ということで、Tさんのひこうき雲での様子を紹介します。



Tさんは、「あーい！！」と大きな声を出して、“元気いっぱい”だというアピールを周りにいる利用者さんや世話人にしてくれます。Tさんの声を聴くと、「今日も元気だね！」と周りも元気をもらえます。

Tさんは自分のお部屋でゆっくりと過ごすよりも、リビングでみんなと過ごす方がとても好きな方で、周りを見てニコニコされています(\*^\_^\*)  
また、Tさんは同じひこうき雲で生活しているSさんのことが、大好きです！！Sさんの顔を見て、笑顔でお話しされています。Sさんがリビングに

居ないことに気が付くと、たま〜にお部屋まで探しに行くこともあるんですよ(\*´艸`)そして、ご飯の時間も楽しみで、一緒に台所に立って見守ってくれることもあります！

Tさんにひこうき雲での生活について、お話を聞いてみました。

世話人「ひこうき雲での生活は楽しいですか？」

Tさん「アーイ！！(笑顔で答えてくれました)」

世話人「ひこうき雲のご飯はどうですか？」

Tさん「☺(ニヤリと笑っておりました)」

世話人「ひこうき雲は好きですか？」

Tさん「えへ〜(とてもいい笑顔でした)」

Tさん、ありがとうございました！



Tさん、お話しありがとうございました！！これからも素敵な笑顔で楽しく過ごしましょう！

(記：菅原)

# 大変身!!

# 激的!?



## Tさんの散髪 ビフォーアフター

にじいろのTさんはとても人見知りです。新しい人には緊張してしまいます。そんなTさんですが、グループホームににじいろに入居して、先日初めての訪問理容を経験しました。ホームでお世話になっている方が数名いる美容室で、訪問理容も行っているため、今回はにじいろに来ていただきました。事前に美容室スタッフの方にお会いしたときは…緊張しながらも好感触(?)という感じでしたので、いよいよこの日散髪をすることに!! 写真はその様子です。



緊張

これから何が  
始まるの?

早く終わって~

BEFORE

散髪中!!

AFTER

散髪前は…いつもと異なる雰囲気を感じ取り(?), 緊張された様子のTさん。今回はご自分の居室で散髪することに。まだまだ慣れないとはいえ、そこは理容師さんもプロ。素早い手つきで髪をスッキリと整えていきます。一緒にいる職員の髪もカット?。さて…仕上がりは?

まだ少々表情は硬いものの無意識(?)に左手でピースサイン☺。次回はいよいよ美容室?これから回数を重ねていけるといいですね。(記:東海林)

## Congratulations★おめでとうございます

ひかりはうすのKさんが、「ピュアハーツアート展」に写真を出品し、銅賞を受賞しました。Kさんに受賞の感想を書いていただきました。Kさんの人生にまた幸せがありますように!(記:加藤)

♪ピュアハーツアート展の事 🍊 🌱 🦋 🍄 🌸 🌙  
私は1月28日にメモリアテークでピュアハーツの作品  
で入賞して賞状をもらいました。夢のようでとても  
うれしかったです。作品名タイトル(古の道)写真パネル  
です。貝団法人 福祉法人 不仕団法人のえらい人  
たちにも「素晴らしい作品」と言われてうれしいです。  
私は何十年ぶりの人賞でした。15歳の時日本  
児童作品展で素晴らしい作品が入賞しました。その時もう  
れしかったです。これからいろいろな写真を撮り  
たいです。ちなみに私は西洋食とカシウとカ  
レトロが好きです。人生はいいことも  
あるそれが人生の道です。ね。 🍄 🌱 🍄 🐱 🍷 🌈

## 研修報告(障害者グループホーム研修会)

2月16日に仙台市グループホームサポート事業主催のグループホームセミナーが開かれました。当日は知的障害者だけではなく、精神障害者なども対象としたグループホームに関わる人たち100名以上の参加がありました。

最初に日本グループホーム学会代表の光増昌久氏より、「グループホームの全国の流れ」と題して平成30年度以降の法律改正などの講座がありました。日中サービス支援型のグループホーム(最大10人2ユニットで運営するもの)の新設や地域生活に移行する際の課題・近年起きている障害者の虐待事件まで幅広い分野の説明がされました。特に虐待防止に関してはつどいの家でも様々な研修が行われていますが、「虐待を発見したものの通報義務」など改めて聞く事が出来、障害を持った方に対する権利擁護についてあらためて考える機会となりました。

第2部は千葉県障害者グループホーム等支援事業の支援ワーカーである桑田良子氏より、支援ワーカーとしての仕事の内容や大事にしている事について話がありました。グループホーム等支援ワーカーは千葉県内で独自に配置されているもので、グループホームの新規開設や運営に関する相談などにあたる専門の職員のことです。特に印象に残った事は、新規開設の際にグループホームのことを良く知ってもらうような取り組みをしている事でした。近隣に住んでいる方々への説明や挨拶だけでなく街の不動産屋にアパートやマンションの活用方法として考えてもらう等、協力してくれる人を増やすような働きかけが行われています。地域全体を包括して見て考える事が出来ることの強みだと感じました。

午後はグループホームの現場の管理者や世話人が現状の発表を行い、さらに社会保険労務士など様々な人たちからの話があり、課題であるグループホームの人材育成について話し合いました。現場からは人材を探すことの難しさが指摘されていましたが、助成金を活用することで金銭面の問題を少しでも軽減出来る事や魅力的な職場を作る手段を考えていくことなどの話があり、福祉以外の視点からの考え方を聞く事が出来とても新鮮でした。最後に「仙台市グループホーム連絡会」の設立について話があり、行政とも協力してグループホームの入居者が安心して暮らせるネットワークを作っていく事について話がありました。今後は連絡会によって情報共有や災害時に助け合える関係が築いていけたら素晴らしいと思いました。(記:後藤)

### 編集後記

気温が少しずつ上がり、春を感じる季節になりました。私はスポーツ全般が好きなのですが、特に最近は大活躍が大好きです。内藤哲也さんという大活躍の口癖に「トランキーロ」という言葉(スペイン語)があります。「あっせんなよ」という意味です。一度立ち止まることにより、冷静に自分を見つめることが出来ます。今では二年連続大活躍 MVP になりました。この「トランキーロ」はどんな場面でも当てはまる良い言葉です。もし皆さん何か困ったことがあったら心の中で唱えてみてください。(記:宮本)

